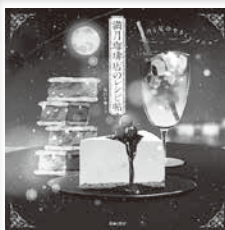


図書室にない本も 借りることができます

お探しの本がない場合、中央公民館を
おとして山形県立図書館の資料を借りる
ことができます。詳しくは中央公民館に
ご相談ください。

～ 町中央公民館図書館
蔵書数 9,357冊 ～

満月珈琲店のレシピ帖
桜田千尋／著



SNSなどで話題の架空
の喫茶店「満月珈琲店」。
訪れた人の疲れを癒やす、
とおきのメニューを幻
想的なイラストと共に紹介。
美しく、どこか懐かしいメ
ニューをあなたもおうちで
再現してみませんか。

ハロウィーンの星めぐり
カロリーナ・ラベイ／作 ウォルター・デ・ラ・メア／絵



デ・ラ・メアの詩「夜に
飛ぶものたち」の美しい絵
本。詩の世界と、絵の中
の魔女たちの世界と子ども
たちのハロウィーンの行事
の世界がそれぞれ響きあう、
三重構造が楽しい作品。

新刊書の紹介

(舟形町中央公民館図書室)



ブックスタート事業紹介



絵本をひらく楽しい「体験」と絵本をセットでプレゼント

ブックスタートは、赤ちゃんの幸せを願い、絵本に対して親しみを持ってもらう活動として、行政
と市民が協働する自治体の事業として全国で行われています。

地域に暮らすすべての赤ちゃんと保護者に、絵本で心ふれあうひとときを届けることが、ブックス
タートの役割です。

舟形での取り組み

舟形町では3～4ヵ月健診時に、ボランティアグループ「ねっこ」のみなさんの協力を得てブック
スタートを行なっています。一人ひとりに簡単な説明と読み聞かせを行い、絵本2冊とコットンバッ
グ、アドバイス集とこんにちは赤ちゃん冊子、読書通帳を手渡しています。
平成27年度に開始し、今までに173組が参加しました。

また、ブックスタートフォローアップとして3～4ヵ月健診が終了した
方を対象に「絵本と遊ぼう赤ちゃん広場」を開催し、読み聞かせやわらべ
歌を通した赤ちゃんとのスキンシップの大切さを伝えています。



▼問い合わせ／舟形町教育課社会教育係 ☎(32) 2246

次号につづく➡

令和4年度 社会福祉法人舟和会 新規職員採用試験(随時)

▼試験区分と採用予定人員、職務内容／

試験区分	採用予定人員	資格要件
①看護職員	3名	看護師・准看護師
②介護職員	3名	・有資格者 介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士 (または各資格取得見込みの方) ・無資格(未経験でも意欲のある方)
③訓練職員	1名	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 または各資格取得見込みの方

▼受験資格／・高等学校以上を卒業した方

・①については、夜勤または夜間待機可能な方

・②については、夜勤可能な方

・③については、理学療法士等資格取得者または同資格受験
資格取得見込みの方

・②③については、昭和58年4月2日以降に生まれた方

・当法人施設(光生園、えんじゅ荘、ほなみ)に通勤可能な方

▼試験科目／・書類選考(履歴書、資格) ・筆記試験(一般教養50分)

・小論文(60分)

・面接試験

▼試験日／申込後要相談

▼試験会場・受験申込書請求先／光生園(来園が難しい方には郵送可)

▼受付〆切／令和5年2月24日(金) ≪随時受付≫

午前9時～午後4時(土、日、祝日をのぞく)

▼合格発表／試験後、おおむね2週間以内に通知

▼採用時期／令和5年4月1日を予定

▼申込み・問い合わせ／社会福祉法人舟和会障がい者支援施設光生園

☎(32) 2770

ふれあい広場

VARIETY
INFORMATION

あなたの声をお寄せください

まちの話題、疑問、質問、
提言、意見のほか、会員募
集やリサイクル情報(譲り
たい、譲ってほしい)、イ
ラストなど何でも結構です。
広報紙上でできるだけ紹
介します。

まちづくり課 企画調整係

☎(32) 0104

11月の納期

◆国民健康保険税 第3期

◆介護保険料 第5期

◆後期高齢者医療保険料 第3期

11月30日(水)まで

忘れずに納税しましょう。

舟形文芸ひろば

短歌

言い慣れし人生五十年は昔の話
われ八十八年の米寿迎へて

木瓜の花の会

佐藤和夫(西堀)

千風会【わが里山・農婦】

おからだは里いもの収穫は気遣ふ息子よ
うれしひととき夜はふけて

千風会

渡辺幸子(紫山)

多忙なり畠仕事や稲刈りと
里山の色づく前の農婦

千風会

畠山ひろみ(木友)

収穫や心せわしも虫音こぼれて
癒さる里よつるべ落して

千風会

小野光子(真木野)

きりぎりすみずくの片隅か鳴く声ほそし
わびしなるかな里は夕暮れ

千風会

森勝広(舟形第四)

分離帯に生ゆるすすき十五夜の月
車がゆらす一陣の風

千風会

景山晃佑(仙台市)

とんぼうの宙返りつつ行き合ひの
雲迎へ遊す美しの里峰

千風会

沼澤千鶴子(鶴陽)(舟形第四)

◎短歌の字余りはあまりよしとはされないが、指導者によつては心情や情景など、より描写できる場合はよしとされている。過去の歌人の中で十六文字の字余りで成せし人あり。

俳句

役終わり家路につきし洒落かかし

木瓜の花の会

佐藤孝子(舟形第二)

土に枝広げ秋茄子また太る

長沢俳句会

大場小夜子(内山)

声透る女船頭水の秋

長沢俳句会

佐藤昭子(長沢第二)

とつぷりと暮れて稲田のよく匂ふ

長沢俳句会

柏木伸子(長沢第三)

合す手にこぼるる萩や満願寺

長沢俳句会

高橋ふき子(長沢第三)

吾亦紅やばね薄と墓参り

ワレモコウ

真見七生(舟形第四)

園の裏稲穂色づき時が来た

永沢幸男(光生園)

人來れば鬼灯鳴らす隣の子

興珠子(野)

また来年頭を垂るゝ稲穂波

井上淳子(ローマ市)

鱗雲のんの(爺)とのんな(婆)元気だね

井上笑(ローマ市)

(淳子・笑ローマに帰る)

詠史三つ物連句

月代や灰と香らす葉研の湯

義経はるか笛ぶくろ解く

小国川孕みの鮎の下るらん

北陽社

井上玲虹(野)

付合句

秋色にみな染まり来る景色かな

煌めき初める昼の満月

高橋志保子(新庄市)
井上玲虹(野)